

## くまがわ明日の川づくり報告会 アンケートのご意見に対する回答

平成19年5月14日（月）の球磨村神瀬地区を皮切りに、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会は53箇所で開催し、延べ1,480人の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

同報告会の中で十分にご発言できなかった方には、同報告会でお配りしたアンケートの自由記入欄にご意見等をご記入いただいたところです。アンケートにご記入いただいたご意見等並びにご意見等への回答のうち、＜その他＞に関するものについては下記のとおりです。（順不同）

### ＜その他＞

地区	アンケートにご記入いただいた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
上流地区	国交省の回答はすべて納得できた。	ありがとうございます。今後とも皆様のご理解を得られるよう、わかりやすい説明に心がけていきたいと考えています。
上流地区	天下りがなくなる限り、説明会を聞いても不信感はぬぐえないと思う。	今後とも皆様のご理解を得られるよう、様々な機会を通じて、球磨川の川づくりについて説明していきたいと思えます。
上流地区	川についての報告会は継続する事が大事だと思う。	今後とも、住民の方々と川づくりについて話し合う機会を、継続的に設けていきたいと考えています。
上流地区	ダムありきの報告会だと思う。ダムに頼らない方法を考える余地はあるのか。	報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものです。 ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
上流地区	球磨川は、みんなの財産だと思う。	ご指摘のとおりであると思います。 我々も肝に銘じて、河川行政を進めていきたいと考えています。
上流地区	川の心に反する行動をされない限り、大きな災害は少ないと思う。	ご指摘を踏まえ、球磨川にふさわしい川づくりを今後とも進めていく考えです。
上流地区	本来の川の役割は人々にとってどうなのかを考える必要がある。	ご指摘も踏まえ、地域の方々からもご意見を聴きながら、今後の川づくりを進めていきたいと思えます。
上流地区	球磨川の水源がどこにあるのか知られていないのではないかと。水源調査などの啓発活動も必要ではないかと。	ご指摘のとおり、球磨川について多くの方々にもっと知っていただけるよう、国土交通省としても様々な機会を通じて、球磨川を紹介していきたいと考えています。

人吉周辺地区	ダム反対の方が出席されていたのであまり良くなかったと思う。	今後とも、様々な機会を通じて、多くの住民の方々から意見をいただくことができるよう、取り組んでいきたいと考えています。
人吉周辺地区	球磨川は川辺川があって活かされていると思う。双方の川が活かされる整備計画を策定してほしい。	ご意見を踏まえ、今後策定する河川整備計画を検討していきたいと考えています。
人吉周辺地区	必要性を強調しなければ少数の世論に押されてしまう。協議検討の結果、到達した結論であれば自信をもって推進されたい。	今後とも皆様のご理解を得られるよう、わかりやすい説明に心がけていきたいと考えています。
人吉周辺地区	河川に関係し従事されている方たちの努力が感じられた。	ありがとうございます。今後とも皆様のご理解を得られるよう、様々な機会を通じてご意見をお伺いするとともに、わかりやすい説明に心がけていきたいと考えています。
人吉周辺地区	小委員会での知事の発言が活かされているのか。どれだけ聞き入れられているのか。話すだけ無駄である。	小委員会では、知事からのご質問・ご意見があった事項についても審議されています。 知事の発言や委員会での審議の内容については、報告会で配布した説明資料にも記載しているところです。
人吉周辺地区	非常に有意義な報告会であったと思う。ダム反対の方への理解は難しいと思います。丁寧な対応に感心した。	今後とも皆様のご理解を得られるよう、様々な機会を通じてご意見をお伺いするとともに、わかりやすい説明に心がけていきたいと思います。
人吉周辺地区	偏った報告会ではなく討論集会等を実施し、県民の意志の統一を得たうえで、再度基本方針をやり直す必要がある。	報告会の開催にあたっては、多くの地域の方々からご意見をいただけるよう、細かい単位（校区など）で、かつ、報告会での国土交通省からの説明は極力簡潔にしつつ、地域の方々の発言の時間を確保するように努めてきたところです。 今後とも、様々な機会を通じてご意見をお伺いするとともに、わかりやすい説明に心がけていきたいと考えていますので、ご理解いただければと思います。
人吉周辺地区	ダム前提の説明会は私には不要である。	報告会は、基本方針の内容等について、地域の方々にご報告するために開催したものです。 ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくことになります。
人吉周辺地区	何のための会であったか。資料の準備や人件費などの多大なエネルギーと費用は理解できない。	報告会は、できるだけ多くの地域の方々に参加いただき、ご意見をお伺いできるよう、細かい単位（校区など）で開催したものですので、ご理解いただければと思います。

人吉周辺地区	国土交通大臣への正確な情報伝達、説明を是非お願いしたい。会場、運営方法など検討の余地があるのではないか。	報告会の状況も含め、現場の状況は随時、国土交通省本省にも伝えていますが、いただいたご意見も踏まえ、今後もしっかりと対応していきたいと考えています。 また、報告会の会場、運営についてのご意見は、事務所までご連絡いただければ、今後の説明・意見聴取の機会の参考にしたいと考えていますので、宜しくお願いいたします。
人吉周辺地区	最重要課題は感情論であると思う。住む場所や思想による違いをどうまとめていくかが課題であると思う。人間が生きていく上で、利便性は必要だが、どこまで自然を壊すか、それが政治だと思う。	ご指摘のように、球磨川流域の住民の方々の間には様々なご意見があると思います。国土交通省としては、できるだけ多くの方々からご意見をお伺いし、治水、環境との兼ね合いも考慮したうえで、河川整備計画を策定していきたいと考えています。
中流地区	他の地域の方が口を挟むのが非常に不愉快であった。	報告会では、できるだけ地元の方々にご発言いただけるよう、会議の運営に努めたところですが、ご意見は、今後の説明・意見聴取の機会の参考にしたいと考えています。
中流地区	反対派は怖い。色々と課題はあると思うが、みんなが納得できるようならばよいのではないか。	報告会は、より多くの地域の方々が基本方針についてご理解いただけるよう、細かい単位（校区など）で開催したところですが、今後とも様々な機会を通じて、皆様のご理解が得られるよう努力していきたいと考えています。
中流地区	水害は国交省の責任ではない。初めてこのような会に参加したが、反対派と推進派の戦いで不愉快な気分になった。	報告会は、できる限り無用な対立や混乱を招くことがないよう運営したところですが、そのような思いをさせてしまったことをまずはお詫びいたします。ご意見は、今後の説明・意見聴取の機会の参考にしたいと考えています。
中流地区	誰のための報告会であるのかわからなかった。	報告会は、基本方針の内容等について、地域の方々にご報告するために開催したものです。 できるだけ多くの地域の方々に参加いただき、ご意見をお伺いできるよう、報告会の運営を努めてきたところですので、ご理解いただければと思います。
中流地区	あまりわかりやすい説明になっていない。無駄な報告会だと思う。	今後とも皆様のご理解を得られるよう、わかりやすい説明に心がけていきたいと考えていますので、ご理解いただければと思います。

中流地区	資料に掲載されていない内容についてなぜ話すのか。	配布資料は、基本方針の内容や審議の経過に関する説明を記載していますが、報告会での説明は、球磨川の状況について、参加者の皆様により一層理解を深めていただくため、過去の洪水被害状況や球磨川の概要等についても説明を行ったところですので、ご理解いただければと思います。
中流地区	意見を絞らせて、村民の声、目をくらますやり方はおかしい。ホームページで知っているものとしては国交省に怒りを持つ。	報告会の開催にあたっては、多くの地域の方々からご意見をいただけるよう、細かい単位（校区など）で、かつ、報告会での国土交通省からの説明は極力簡潔にしつつ、地域の方々の発言の時間を確保するように努めてきたところです。今後とも、様々な機会を通じてご意見をお伺いするとともに、わかりやすい説明に心がけていきたいと考えていますので、ご理解いただければと思います。
中流地区	人命と環境に配慮した川づくりをお願いしたい。税金は大事に活用してほしい。	自然環境をできる限り保全しつつ、一方で治水安全度についても高めていくという治水と環境等の兼ね合いを考慮しながら、河川整備を実施していきたいと考えています。
中流地区	今回の説明会は、ダムに結論づける説明であると思う。川づくりの説明とは思えない。	報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものです。ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
八代地区	八代の説明がなかった。八代地域の具体的な整備内容を知りたかった。	報告会での計画高水流量の説明については、球磨川の中で治水上、最もネックとなる箇所が八代地域であることから、八代を中心とした説明をさせていただいたところですので、ご理解いただければと思います。なお、具体の河川整備については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、八代地域での河川整備の内容については、その際に、皆様にお示ししていく考えです。
八代地区	住民からだされた意見はどのようにするのか。流域委員会にどのように影響するのか。八代の治水対策をもって説明してほしい。	報告会でいただいたご意見は、今後の川づくりや河川整備計画を策定する上での参考にしていきたいと考えています。なお、具体の河川整備については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、八代地域での河川整備の内容については、その際に、皆様にお示ししていく考えです。

八代地区	時間が足りなかった。	報告会の開催にあたっては、多くの地域の方々からご意見をいただけるよう、細かい単位（校区など）で、かつ、報告会での国土交通省からの説明は極力簡潔にしつつ、地域の方々の発言の時間を確保するように努めてきたところです。 今後とも、様々な機会を通じてご意見をお伺いするとともに、わかりやすい説明に心がけていきたいと考えていますので、ご理解いただければと思います。
八代地区	もっと町内会単位で気軽に参加できるような集会をお願いしたい。わかりやすい説明であれば、もっともっと参加者も多くなると思う。自分の町内のことについて興味をもてるようになると思う。	報告会は、できるだけ多くの地域の方々に参加いただき、ご意見をお伺いできるような、細かい単位（校区など）で開催したのですが、ご意見は今後の説明・意見聴取の機会の参考にさせていただきます。
八代地区	もう少し簡単に素人にもわかるようお願いしたい。専門語が多すぎる。早くつくってください。	専門用語についても、できるだけ皆様にわかりやすい表現で説明するよう心がけたところですが、ご指摘も踏まえ、今後、説明を行う際には、その表現等についてさらに工夫していきます。
八代地区	自然の怖さのことを考えて話してもらいたい。	ご指摘のとおり、洪水など自然災害の怖さについて、皆様にしっかりとお伝えしていくことが大事だと思っております。
八代地区	報告会の資料を事前に配布していただきたい。	報告会の説明資料はボリュームもあることから、報告会に参加いただいた方のみ配布しているところですので、ご理解いただければと思います。 なお、基本方針に関する資料は、ホームページのほか、流域内の市町村役場等で閲覧が可能です。
八代地区	高水流量などの用語は、初めて聞いたため解りにくかった。人吉のことは解らない。	専門用語についても、できるだけ皆様にわかりやすい表現で説明するよう心がけたところですが、ご指摘も踏まえ、今後、説明を行う際には、その表現等についてさらに工夫していきます。 また、報告会での計画高水流量の説明については、球磨川の中で治水上、最もネックとなる箇所が人吉地域であることから、人吉を中心とした説明をさせていただいたところですので、ご理解いただければと思います。

八代地区	報告会を今やるのは何故か。計画の段階で行うべきではないか。	報告会は、基本方針の内容や審議過程について説明責任を果たすよう、知事や小委員会からご意見があったことも踏まえて、河川整備基本方針の内容等について地域の方にご報告するため開催したものです。 なお、具体の河川整備の内容を定める河川整備計画を策定する際には、住民の方々からご意見をお伺いする考えです。
八代地区	校区外の出席者の発言を止めていただき感謝する。地元の意見を大切にしたい。報告会にしていきたい。	報告会では、できるだけ地元の方々にご発言いただけるよう、会議の運営に努めたところですが、今後とも、地域の方々の声を大切に、しっかりと説明責任を果たしていきたいと考えています。
八代地区	一生懸命な説明であったが、高齢者の方の参加が多く、難しい用語が理解できないのではないかと心配した。でも集会としては良かった。	専門用語についても、できるだけ皆様にわかりやすい表現で説明するよう心がけたところですが、今後とも皆様のご理解を得られるよう、わかりやすい説明に心がけていきたいと考えています。
八代地区	高度な内容の説明であったが、報告会に参加できて現状や経過がよく分かった。市民の安全を考え、良い環境を保つよう願う。	今後とも皆様のご理解を得られるよう、わかりやすい説明に心がけていきたいと思えます。
八代地区	出席者が少なく税金の無駄遣いではないか。	報告会の開催については、各戸に案内ビラを配布したほか、町会長の皆さんにも参加の呼びかけを行ったところですが、今後、説明や意見聴取を行う機会には、さらに多くの方々が参加いただけるよう、広報の方法について、検討していきたいと考えています。
八代地区	国からの指示ではなく住民の意見を受け入れて改善してもらいたい。	河川行政を進めるにあたっては、できるだけ多くの住民の方々の意見をお伺いしていきたいと考えています。
八代地区	河川整備が進み、公園化等も進んでいるところであるが、益々市民の声を聴いて進めてほしい。	今後、河川整備を進めるにあたっては、できるだけ多くの方々の意見をお伺いしていきたいと考えています。
八代地区	今後とも国民のために親身になって頑張ってください。	河川行政を進めるにあたっては、様々な多くの住民の方々から意見をお伺いしていきたいと考えています。

八代地区	昔から流れの変化がある川で水泳や水遊びは注意されていました。川を知ることの大切さがわかった。	国土交通省では、人々が河川に親しむことができるよう、地元市町村や住民の方々と連携して、ハード整備のみならず、河川の環境学習、河川清掃や河川愛護活動等のソフト面の取り組みも進めていきたいと考えています。
八代地区	農業用水路が排水路になって困っている。水路に水の流れを復元させることはできないか。	具体的な場所について事務所もしくは出張所までご連絡いただければ、管理者にお伝えします。
八代地区	ダムによる電源のための川から生活志向の川に転換してほしい。	河川は、流域にお住まいの方々の生活に密接に関係している部分もあると思いますので、住民の方々のご意見をしっかりお伺いしながら、今後の河川整備を進めていきたいと考えています。
山鹿・熊本 ・八代	これまでの報告会の質問について回答されていないものはどうするのか。	報告会でいただいたご質問に対する回答については、説明が不十分な点を補足したうえで、ホームページに掲載しています。
山鹿・熊本 ・八代	ダムについてのみ意見が集中して、報告会の目的は何なのかと考えた。報告会に何度も出席して質問するのは困る。なんとかならないか。	報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものです。 報告会では、できるだけ多くの方にご発言いただけるよう、地元の方、初めての方に優先して発言いただくよう運営してきたところですので、ご理解いただければと思います。
山鹿・熊本 ・八代	会場からの質問者はもっと紳士的に話をしてほしいと思う。	
山鹿・熊本 ・八代	専門的な話が多く、実感しづらいというか難しかった。説明する前に質問者を受け付けて限定するのはおかしいと思う。その制度を知らなかったので質問できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門用語についても、できるだけ皆様にわかりやすい表現で説明するよう心がけたところですが、ご指摘も踏まえ、今後、説明を行う際には、その表現等についてさらに工夫していきます。</li> <li>・県民の皆様を対象とした報告会では、参加者数の予測ができなかったため、質疑の際の混乱等をできるだけ避けるうえで、予め質問希望の有無を確認させていただいたところですので、ご理解いただければと思います。</li> </ul>

山鹿・熊本 ・八代	アンケートの質問が国交省の思惑を裏打ちする結果になるような内容になっている。嘘の資料も含めて自分の都合のよい巨大なダムをつくらんがためのものと思われる。恐怖を煽るところがある。河川整備計画はダムに頼らないものとしてほしい。質問を制限するのは不愉快である。	アンケートは、報告会に参加いただいた方々の率直な意見をお伺いするために実施しているものですので、ご理解いただければと思います。 また、報告会は、できるだけ多くの方々にご発言いただけるよう運営してきたところですので、ご理解いただければと思います。
山鹿・熊本 ・八代	報告会の意味が理解できない。税金の無駄遣いだと思う。	報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものですので、ご理解いただければと思います。
山鹿・熊本 ・八代	嘘の資料やダムありきの小委員会などで過去のダムがつけられてきたのかと思うと寂しい感じがする。	小委員会では、球磨川の基本方針について、様々な分野を専門とされる方々で構成される小委員会において丁寧かつ慎重にご審議いただいたところです。また、ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
山鹿・熊本 ・八代	報道による情報では、もめていることはリアルに伝わってくるが、その背景や数値的データなどについては、県民、特に若い人達の理解度が低いと思う。広く県民に反対・賛成の言い分について品位をもって広報する場がほしい。国交省の発言のとおり兼ね合いが大事だと思う。もめ続けている状況だけが全国に報道されるのは残念である。	球磨川流域以外の熊本県民の方々にも、基本方針についてご理解いただけるよう、流域外の会場でも報告会を開催したところですが、今後もしっかりと説明責任を果たしていきたいと考えています。 その際には、地域に無用な対立や混乱を招くことのないように留意していきたいと考えています。
山鹿・熊本 ・八代	河川整備計画の策定段階で住民の意見を反映させてほしい。	具体の整備内容等を定める河川整備計画の策定にあたっては、必要に応じて関係住民の意見を反映させる措置を講じるよう法律に定められており、今後とも住民の皆様のご意見をお聴きしていきたいと考えています。
山鹿・熊本 ・八代	本来、何のためにやるのか。視野を広く、長い目で見て考えたときに一番大切にすべきものは何か。行政や住民という区別ではなく、一人一人の考えを出来る限り吸い上げてほしい。	ご指摘も踏まえ、今後、河川整備を進めるにあたっては、できるだけ多くの方々の意見をお伺いしていきたいと考えています。
山鹿・熊本 ・八代	沿川住民のなかで安全安心の川づくりを待っている人も多くいると思う。このような会場で大きな声で発言される意見だけでなく、そのような人々の意見も何らかの方法で聴くようにしてほしい。	ご指摘も踏まえ、今後、河川整備を進めるにあたっては、できるだけ多くの沿川の方々の意見をお伺いしていきたいと考えています。

山鹿・熊本 ・八代	大変難しい問題だと思った。その時代時代にベストであったであろう事業が行われてきたのだろう。しかし、間違いに気づいた時点で環境等を考慮しながら、利害のないところで進めていってほしいと思う。長い年月をかけて慎重に進められていると感じた。住民の意見を聴き続けてほしいと思う。	ご指摘のように、過去に作られた計画についても、現在の必要性をしっかりと検討したうえで、必要があれば見直していくことは重要であると考えます。今後、河川整備を進めるにあたっては、できるだけ多くの方々の意見をお伺いしていきたいと考えています
山鹿・熊本 ・八代	川づくりというが、川はもともとあるもので、簡単にいじっていいものではないと思う。	ご指摘のとおり、良好な河川環境については、しっかりと保全していく必要があると考えています。

※ アンケートにご記入いただいたご意見等をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせていただいています。

※ 誹謗中傷するようなご意見等については掲載しておりません。